

災害情報

平成30年8月15日16:00現在

国土交通省

平成30年口永良部島の火山活動の高まりに伴う被害状況等について（第1報）

※ これは速報であり、数値等は今後変わることもあります。

1. 本省及び地方支分部局の体制について

| | | | | | | |
|-------------|-------|-------|------|-------|-------|------------|
| 国土交通本省 | 8月15日 | 10:30 | 警戒体制 | | | |
| 九州地方整備局 | 8月15日 | 10:30 | 警戒体制 | 九州運輸局 | 8月15日 | 10:30 警戒体制 |
| 国土地理院 | 8月15日 | 10:30 | 警戒体制 | 気象庁 | 8月15日 | 10:30 非常体制 |
| 国土技術政策総合研究所 | 8月15日 | 10:30 | 警戒体制 | | | |

2. 火山活動等の概要（8月15日14時現在）

- 8月8日頃から、火山性地震や火山ガスの放出量が多い状態で経過していたが、8月15日0時頃から火山性地震が増加し、同日12時までに25回発生。最大でマグニチュード1.9（速報値）を観測。
- 火山性地震の震源は新岳の南西山麓付近の深さ約5kmで、2015年5月の噴火前（2015年1月）に発生した地震と概ね同じ場所であると推定されることから、今後、火山活動が更に高まる可能性。

【噴火警報（8月15日10時30分発表）】

- 噴火警戒レベル2（火口周辺規制）からレベル4（避難準備）に引き上げ。
- 対象市町村等
以下の市町村では、火口周辺で警戒が必要。
鹿児島県：屋久島町

3. 国土交通省の対応

- 国土交通省連絡調整会議を開催（8/15 14:30）
- 国土交通省として引き続き被害情報の収集・把握に努める
- ホットラインの実施状況
・屋久島町長との情報収集体制を確立済み
- TEC-FORCE等の派遣【のべ1人・日派遣（8/15～）】
・TEC-FORCE（リエゾン）の派遣 1人・日派遣（8/15～）（1人派遣中 8月15日16時時点）
・TEC-FORCE（リエゾン）の派遣状況（単位：人）

| 派遣先 | | 派遣元 | 8月 | 合計 | 合計 (市町村) |
|------|-------|-------|----|----|-------------|
| 都道府県 | 市町村等 | | 15 | | |
| 鹿児島県 | 鹿児島県庁 | 九州運輸局 | 1 | 1 | 1 |
| 合計 | | | 1 | 1 | 1 |

4. 気象庁の対応

- 噴火警報発表（噴火警戒レベル4（避難準備）に引き上げ）（8月15日10時30分）
- 気象庁本庁記者会見（8月15日11時30分）
- 明日（8月16日）から火山機動観測班を口永良部島に常駐させることにより、熱観測・火山ガス観測等の機動観測を頻繁に実施するなど観測体制を強化するとともに、住民等に対し火山活動についての丁寧な解説を行う予定。
- 引き続き厳重な観測・監視、正確かつ迅速な情報提供を行い、火山の専門家や地元自治体との連携を密にして、対応に努める。

5. 海上保安庁の対応（8月15日12時現在）

- (1)体制
【8月15日】
1030 海上保安庁災害対策室を設置
第十管区災害対策本部を設置
- (2)対応勢力
○巡視船艇 3隻【延べ3隻】
○リエゾン 4名【延べ4名】（屋久島町2名、鹿児島県2名）
- (3)人的・物的被害及び主な対応状況
状況調査等のため、巡視船現場向け中
- (4)航行警報等発出状況
【8月15日】
1041 航行警報発出
1130 海の安全情報発出

6. 国土地理院の対応

○8月15日15:51 火山災害対策用図「口之永良部島」及び火山基本図データ「口之永良部島」を関係機関に提供。

7. 所管施設等の状況

○河川、管理ダム、土砂災害、水管理・国土保全局所管の海岸保全施設、下水道、道路、鉄道関係、自動車関係、航空関係、
海事関係、港湾関係、物流関係、公園・宅地関係、公営住宅等関係、官庁施設、観光関係
・現時点で被害情報なし

| |
|---------------------------|
| 問合先：水管理・国土保全局防災課災害対策室 伊藤 |
| 代 表：03-5253-8111 内線35-822 |
| 直 通：03-5253-8461 |